

八乙女

八乙女の新雪仰ぎとび立ちし

若人等今夢もてはばたけ

松田澄子



「平成18年 成人式」

ごあいさつ

南山見自治振興会

会長 澤田武夫

平成十八年の新春を寿ぎ、謹んで新年のあいさつを申し上げます。皆様には、お家族お揃いで、新年をお迎えになられましたことを、心よりお慶び申し上げます。昨年は各般にわたり各別のご協力を賜りありがとうございました。昨年末の十二月十一日の初雪がそのまま根雪となり、日本列島を襲った記録的な豪雪と寒波の影響で、二十数年振りに屋根雪降ろしをされた正月となりました。

昨年は郵政の民営化法案が成立され、国、地方共に行政改革が一段と強まり、景気回復の実感もまだ薄い状況です。南砺市が誕生し一年余りの経過の中で地域の各種団体の補助金も徐々に削減が強いられ、活動しにくい前途と考えられますが、私達の地区では全国的に見ても素早く、将来の農業を展望し一村一農場、ファーム八乙女を設立。また南砺市立戸板住宅団地の改築が十八年度に実施される計画です。地区の皆さんの知恵と力を結集し、先達の皆さんの築いてくださったこの地域をさらに明るく、住み良い地域にと考えます。皆様今年も健康で良い年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



成年の新年 を迎えて

私の目標

山崎 香澄
(平成六年生)



私は、四月に六年生になります。学校で

部活は、合唱部です。

私が四年生の時、合唱部に入り、その年はNHK合唱音楽コンクール全国大会に出場することが出来ました。五年生の時は、惜しくも東海北陸ブロックコンクールで、銀賞となり、全国大会へ行けませんでした。

今年是最上級生となるので、部員のみならず協力しながら練習をし、全国大会へ出場することを目標にして、がんば

りたいと思います。

今の私

澤田 充朗
(昭和57年生)



二十四才を迎え、これまで育ててもらった家族には感謝しています。これから自分に出来ることで家族に恩返しをしていきたいと思っています。

社会人として働き始めてから、早二年が過ぎようとしています。早二年が過ぎようとしていますが、一日として無駄だと感じる日はなく、たくさんのことを教えて頂き、忙しく充実した日々を送っています。

家族

前田 吉昭
(昭和57年生)



仕事をはじめ、三年目になります。最近が、最近

会社の部署が変わり日々勉強の毎日です。

忙しく過ごしているせいか、月日の経つのが早く感じられます。昨年末から続く大雪の災害で、たくさんの方の命が犠牲になり、命の尊さを考えさせられます。家族全員で過ごせる時間は余りありませんが、ダイニングルームでそれぞれの会話を大切にして笑顔の多い家庭にしていきたいと思っています。

今年自分にとって千載一遇の年。俺の頑張りは今から

願いをこめて

山田 玲子
(昭和45年生)



この世に生を受けて、早三度目の千支を迎えました。

昨年に続き、テレビや新聞には災害や予測できない事件が日々報道されています。しかしこの南山見地区は、自然が豊かで文化的で地域社会のつながりが強くて……、この土地で育てていただいている子供たちや私には対岸の火事のように思ってしまう。今一度「命の尊さ」「生きていくことの喜び」を忘れずにいきたいです。

「健康」と思うこの頃

山本 紋子
(昭和33年生)



南国育ちの私には、富山に来た当時は、雪

がとつてもめずらしく、雪が降るとうれしかったものです。それが今は、南国の冬がちよっぴりなつかしく思います。

小さい頃は、病弱な私でしたが、富山の水が私に合ったようで年を重ねる毎に元気になり、うれしく喜んでいました。ところが若いと思っても、体力は加齢と共に少しずつ衰え、健康に気をつけるようになりしました。

もうすぐ迎える50代そして60代と、「日々健康で笑いのある暮しであつたらなあ」と考えています。

これからも

岩崎 宗義
(昭和33年生)



知らぬ間に時が過ぎ、今年で四回目の成年

を迎えました。

趣味で太鼓を始めて十八年、家族や回りの皆様の良き理解の下、今まで続けられたことに感謝致しております。太鼓を通じて、人に感動してもらえ、嬉しさ、自分の壁を乗り越えたときの喜びなど、いろいろ

ろな経験をさせて頂くことが出来ました。今後も出来る限り続けたいと思っております。これからも夢と希望を持って、何事にも頑張つて行きたいと思っております。

温かい郷土に感謝

佐藤 三津男
(昭和21年生)



還暦を迎え、これまで過ごさせて頂いたこと、頂いたこと、の地区に感謝したいと思ひます。

戦後の混乱期に生まれた私たち四十五名は南山見小学校へ入学しました。高学年の時、遠足で八伏山まで歩いたことや、志観寺でのスキー大会、また東城寺城址の探検などが楽しく思い出されます。最近、新聞紙上でシヨッキングなニュースも時としてあります。私たちは、感謝の気持ちで郷土の自然と周りの人々と温かいつながりを持ったこの地域の発展を願いたいと思ひます。

還暦を迎えて

片田 榮治
(昭和21年生)



戦後生まれの団塊世代と言われる私達が順次定年を迎えます。五回目の戌年に当り、色々過ぎたことが走馬灯のように巡り感無量であります。

今までは仕事優先でいそがしい毎日ではありましたが、これからは、日々健康に留意し、時には立ちどまり、社会の一端を自分なりに担い、そして、地域の繁栄が未来永劫と続きますように願っております。

還暦迎え 新たな旅立ち

中村 美津夫
(昭和21年生)



この世に生まれ、もう61年、私にとつては

短いようで長かった人生。苦勞もありましたが地域の皆さんに助けて頂き、子育ても終わりやつと一安心。これから妻と二人で、のんびりと温泉や旅行に行き、健康に気を付けて感謝の気持ちを忘れず、これからの日々を大切に過ごして行きたいと思っております。

家族と共に七十年余

高嶋 清子
(昭和9年生)



月日の経つのは早いもので、父が明治四十二年生れ、私が昭和九年生れで共に戌年、四世代家族九人揃つて、元気に新しい戌年を迎えることができ、これも周りの皆様のお陰と感謝しております。

明治・大正・昭和・平成の時代を生き、そして生き抜こうとする私達家族。今思い出すと、戦中戦後の食糧難の時代から、飽食の時代と言われる現在まで、いろんなことがありました。これからも地域の一員として、家族と共に明るく元気に

過ごしていきたいと思ひます。

励まされて

田村 よし子
(昭和9年生)



新しい年を迎え、早六回目の戌年を迎えることが出来て嬉しく思っております。これも家族をはじめ地域の皆様方のおかげ様と、感謝の気持ちでいっぱいでございます。これからは健康に気をつけて、残された人生を皆様と一緒に互いに励ましあつて行きたいと思ひます。

八十路坂

山本 助次
(大正11年生)



戦争、敗戦という大変な時期に生を受けて七回目の戌年を元気で迎えさせていただきます。大変嬉しく喜んで

戦争中の食糧難も、終戦後の高度成長により、食生活は量より質の時代へと変わり、農業は異常気象による不作となつても驚かない時代になりました。この間、健康にも恵まれてアツという間に八十の坂を超えてしまいました。家族や数多くの皆さん方の励ましや、多大なる御協力に改めて感謝しております。残された人生の一日一日を大切に感謝の心を忘れずに毎日を送りたいと思ひます。

感謝の日々

前田 みよ
(明治43年生)

明治、大正、昭和、平成と生かされております。これもみな神仏、家族、そして皆様方のお蔭と喜んでおります。大根や白菜を作り、また、図書館へも行つたりしております。近年足腰が弱くなり、昨年よりケアポートへ行つております。週三回ですが、介護の方がとても親切にして下さいます。たくさんのお友達もいらつしやり、とても楽しいです。有難く感謝の日を送っております。

第28回 南山見地区

八乙女文化祭

第28回 南山見地区 八乙女文化祭



ンド演奏がありました。また、館内では、普段から数多くの活動を行っている各種団体の活動報告展示や子供達がつ作った焼きもの、ぬくもりを感じさせる木の作品をはじめ、手芸や書道などの作品展示。また、婦人会のバザーや、ちよつと一息のお茶席・喫茶コーナー等。

第28回八乙女文化祭が、十一月十三日に開催されました。天候にも恵まれ、外では壮年部・成年部の模擬店、グラウンドではマレットゴルフ大会、そして特設ステージでは生バ



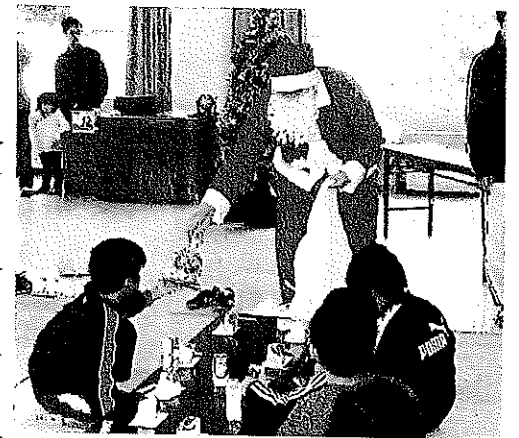
体育館のステージでは、可愛い園児らの発表をはじめ、児童たちがこの日の為に練習してきた出し物、そして各種グループの踊りや大正琴の発表。また、今回は南砺市警の婦警さんによる腹話術もありました。場内は明るい笑顔や拍手でいっぱいでした。年間行事の中でも八乙女文化祭が行なわれると私はいつも思います。小さな子供からお年寄りまでが、皆、地元の公民館に集まり、同じ瞬間をむかえ、交流すること。今の時代、一番大切なことだと思

います。老若男女を問わず、コミュニケーションをとり、文化を通じて明るく、心豊かな生活を築くことの出来る、こゝ南山見を大切にしていきたいと思えます。
(母親クラブ 林 一代)



クリスマス会と花たん作り

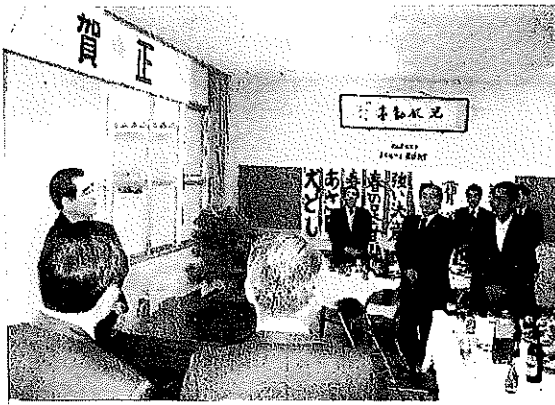
井波花とみどりの少年団



十二月十一日、児童クラブと母親クラブによる花壇作りとクリスマス会を行いました。「井波 花とみどりの少年団」の活動である花たん作りでは、「花と緑の銀行」の方々にご指導して頂き、球根を植えました。今年は雪の降るのが早く当日も、辺り一面白く雪が降り積もった寒い日でしたが、児童達は、元気に球根を植えました。寒い中ががんばった児童、球根共に、大きく、元気に、成長することでしょう。クリスマス会では、大きなフーセン遊びや指遊び、ツリーの飾りつけ、ビンゴゲームそしてサンタクロスからのプ



レゼントを嬉しそうにもらっていました。私達も一緒に楽しい一日を過ごさせて頂きました。(児童クラブ 岩崎一彦)



平成十八年南山見地区「新年の集い」が一月四日、来賓に清都南砺市助役・島田市議会議長・山本綿貫後援会長をお招きし、自治振興会長のあいさつで開催されました。今年の新集いは昨年末の大雪のため、集まりが心配されましたが、会場一ぱいの参加を得て開催されました。来賓の方々より祝辞をいただき、南砺市発足し一年経過した中で、市の一体化をより一層進めたいという話とともに、市の「総合計画」を策定するため市民の皆様の提言・協力が必要と話されました。

新年の集い

池田喜昭



これには、住民一体となつて取り組む一年になるのではと感じました。このような重要な年こそ南山見地区の皆様が一致団結してこの年を送るべく誓いを新たに致しました。

ご寄付

一金、貳万円也

女性セミナー様

ありがとうございました

増やそう 守ろう

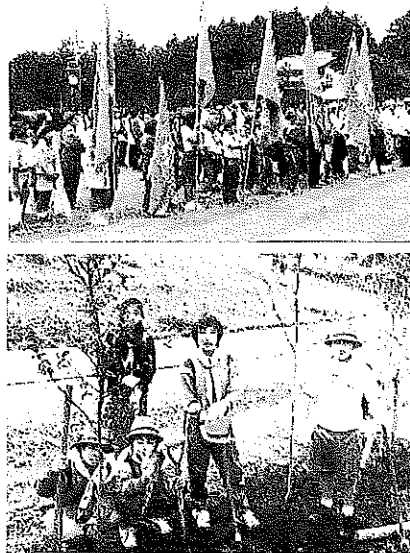
なんとの森

好天に恵まれた十月三十日、井口の赤祖父池周辺で「なんとの森植樹祭」が盛大に開催され、「井波花とみどりの少年団」から高学年の児童が参加しました。

この植樹祭は、自然豊かなこの南砺市に「もつと森を増やし、緑を守ろう」という気持ちを込め、市が主

平成17年度 「なんとの森」植樹祭

催となり今年度初めて開催されました。開会式では、県や市の関係者が出席する中、溝口市長が「植樹した後も緑に関心を持ち続けましょう」と挨拶。式典後、ヤマザクラ、コナラ、ブナ、ヤブツバキなど百五十本を参加者全員で植樹しました。参加した児童は、普段あまり使ったことのない



受賞

おめでとうおめでとう

平成十七年十一月十九、二十日に現代学生読書大会が金沢市で開催され、少年研修館書道教室より出品致しました。成績は次のとおりです。

- | | | |
|----------|----|--------|
| 富山テレビ放送賞 | 五年 | 横江千夏さん |
| 会長奨励賞 | 六年 | 須川 誠さん |
| 書学会賞 | 五年 | 篠原天馬さん |
| 秀作賞 | 二年 | 篠原風斗さん |
| 銅賞 | 一年 | 山本拓実さん |



お知らせ

2月7日(火) 午後7時30分より

平成17年度 公民講座

講師 富山県議会議員 岩田忠正氏

2月26日(日) 午前9時より

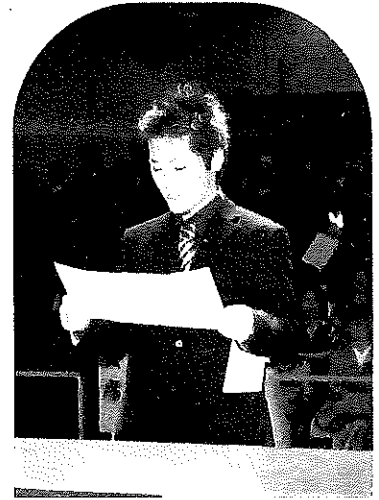
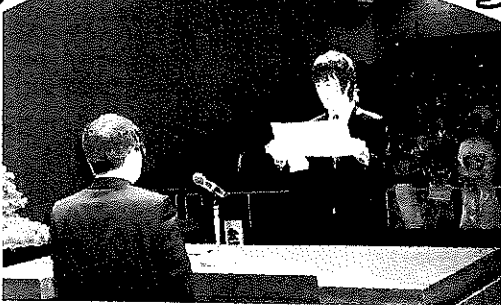
第17回 南山見地区

三世代交流の集い

クワに悪戦苦闘しながらも、一本一本丁寧に苗木を植えていました。
(児童クラブ)



成人をお迎えのみなさん おめでとうございませう



井波地域成人式は、例年にない大雪のなか、1月8日（日）に井波総合文化センターで御来賓、また、御家族にも御来場いただき、盛會に、華やかに開催されました。

当地区の山本裕司さんが力強く交通安全宣言をされ、狩野翔太さんが成人を代表して謝辞を述べられました。そのあと、全て成人のみなさんの企画、運営による「成人者の集い」が澤田貴洋さん

の総合司会で始まりました。

小学校、中学校の恩師の先生方をお招きして、当時のなつかしい様子がスクリーンに映され、それぞれ思い出を発表されました。恩師の先生よりお祝いの言葉をいただき、会場のみなさんもふっと涙する場面があったようで、大変心に残る成人式だったと思います。今年も公民館よりお祝いとしてマナー辞典をお贈りいたしました。（事務局）

新成人のみなさん

- 院瀬見第二
- 蓮田 慎司
- 院瀬見第三
- 中嶋 翔太
- 山本 裕司
- 田村 晴美
- 武田 美穂
- 田村 繁奈
- 東城寺
- 狩野 翔一
- 須川 惠太
- 清玄寺
- 亀田 恒治
- 澤田 桂子
- 澤田 祐子
- 連代寺
- 山本 美矢子
- 箭原 雅樹
- 志観寺
- 池田 妙子
- 谷 慧美
- 山本 慧美
- 戸板
- 小橋 徳康
- 小橋 康晴
- 舟元 渚
- 川原崎
- 山崎 有佳里
- 沖 貴里
- 澤田 貴洋
- 池田 朱里
- 山本 千種

新しい年がまたやって来て、年を越すたびにそれぞれにそれぞれの思いがめぐります。

少子化、高齢化、そこから問題になる種々なこと……。そんな中で人と人との関わりの中で一番大切な信頼と安心が根底から覆された物事や事件が昨今多く目立って来ています。

人とかかわり、ふれあいの機会をもつことで少しでも大切なことが守られ、維持され、形成されていくのではないのでしょうか。そして今求められています。子が育ち、人が住みやすい社会・地域の組織は、その役割を少しでも担って行きたいものです。（下）

編集後記

南山見人口	
男	561人
女	599人
計	1,160人
平成17年12月31日現在	